



日田市監査委員告示第 14 号

地方自治法第199条第9項の規定により、財政援助団体監査の結果を次のとおり公表する。

監査対象：

補助金等の名称	財政援助団体の名称・代表者名
日田市老人クラブ連合会交付金	日田市老人クラブ連合会 会長 高倉 勇
農業用施設管理保全対策事業補助金	日田市土地改良区 理事長 吉秋 継徳

令和4年12月8日

日田市監査委員 小ケ内 聡行  
同 溝口 千壽

(注)書類は当市監査委員事務局に保管しています。



# 令和4年度財政援助団体監査結果報告書

## 目 次

1	監査の対象	1
2	監査の期間	1
3	監査の場所	1
4	監査の結果	1
	・まえがき	1
	・日田市老人クラブ連合会交付金	2
	・農業用施設管理保全対策事業補助金	3



## 1 監査の対象

補助金等の名称	財政援助団体等の名称・代表者名
日田市老人クラブ連合会交付金	日田市老人クラブ連合会 会長 高倉 勇
農業用施設管理保全対策事業補助金	日田市土地改良区 理事長 吉秋 継徳

2 監査の期間 令和4年11月4日から令和4年12月2日まで

3 監査の場所 監査委員事務局

## 4 監査の結果

まえがき

今回の監査は、日田市が令和3年度において、補助金等の交付を行った事業の中から、事業の内容及び補助金等の交付額等を勘案して事業を抽出し、これらの対象事業が計画的かつ交付条件に従って実施され、十分な効果があげられているか、また被補助団体における会計経理、財産管理の方法は適正で出納関係帳票は確実に整理されているか、さらに補助金等の交付額及びその時期、方法、手続き等は適正であるか等に重点をおき、関係団体の代表者や所管課の関係職員などから説明を聴取し、書面監査を実施したものである。

監査の結果については、概ね適正に事業の執行及び事務処理が行われていた。

以下、監査結果に関する意見を順次記述する。

## ◎日田市老人クラブ連合会交付金

ア. 財政援助団体等の名称・代表者

日田市老人クラブ連合会 会長 高倉 勇

イ. 財政援助額 8,357,500 円

ウ. 所 管 課 老人福祉センター

エ. 事業の執行状況

日田市老人クラブ連合会は、市内の各单位老人クラブ相互の連絡協調を図るとともに、老人福祉の増進に寄与することを目的として昭和 37 年に設立されたもので、令和 3 年度は、73 単位の老人クラブ、会員数 2,749 名で構成され、加入率は 12.1%となっている。

全国老人クラブ連合会の全国三大運動である「健康・友愛・奉仕」を推進し、「健康で明るく楽しい老人クラブづくり」を目指し、各地区の代表で構成される 5 つの委員会が中心となり、様々な事業に取り組んでいる。

しかしながら、老人クラブ加入率は年々減少傾向にあるため、日田市老人クラブ連合会では、令和 2 年度から 3 か年事業として「会員ひとり一声運動」を実施し、各クラブで目標を持ち、常日頃から全会員による声かけ運動を心掛け、クラブへの加入促進活動に取り組んでいる。

現在、加入の対象となる比較的若い高齢者のための行事やイベント等も検討されていることから、今後の加入率の向上に期待するものである。

令和 3 年度はコロナ禍の影響を受け、多数の行事、イベント等が中止となったが、会員の介護予防や健康寿命の延伸を図るため、高齢者のひとり世帯などを対象とした友愛訪問活動や、各地区における清掃、草刈りなどの奉仕活動、健康増進活動に取り組む中、地区交流グラウンドゴルフ大会の開催や、女性活動委員会研修会において市及び市内医療機関と連携した「健康体操」など、健康づくり、生きがいくくりを目指した新たな取組にも期待するところである。

今後、更に高齢化が進む中、高齢者の方々の豊富な知識や経験を活かした地域づくりや、各種施策に対する助言等を希望するとともに、日田市老人クラブ連合会の益々の活躍を期待するものである。

## オ. 監査結果による意見

監査の結果については、全般的に見て、事業は概ね財政援助の目的に沿って実施されている。

## ◎農業用施設管理保全対策事業補助金

ア. 財政援助団体等の名称・代表者

日田市土地改良区 理事長 吉秋 継徳

イ. 財政援助額 6,000,000 円

ウ. 所 管 課 農業振興課

エ. 事業の執行状況

日田市土地改良区は、「土地改良法」に基づき設立され、平成 17 年の市町村合併に合わせ、市内中心部の 8 土地改良区を合併し、認可を受けている。合併前の組織を主とした山田原、三芳、入江、島内、日田中央、風呂元、髪永、高瀬に委員会を設置し、各委員会において水利権の調整及び農業用施設の維持管理を主体とした土地改良事業が行われている。

令和 3 年度末の組合員数は、1,597 人、面積は 461.3ha となっており、合併時に比べると、組合員数で 214 人、面積で 72.2ha 減少しており、これらは宅地化が進んだことや組合員の高齢化などによるものと考えられる。

この補助金は、地域の特性に即して自主的に農業用施設の管理保全に資する活動に要する経費を対象とし、令和 3 年度は 600 万円を交付している。

農地や農家戸数が減少し続け、組合員が減少傾向にあるものの、水利施設の維持管理に努め、農業振興と地域活性化を実現するための大きな役割を果たしている。

最近では、毎年、約 250 人の小学生が日田市の偉人を学ぶ教育として、塩谷代官や廣瀬久兵衛が導水に関った小ヶ瀬井路の見学に訪れており、事務局職員が水路構築の目的や土地改良区の役割などの説明を行い、先哲学習にも貢献している。

今後も水郷日田のイメージアップや町並み景観を形成する役割、火災時の防火用水としての利用など、農業用水路の公益的機能に期待するとともに、適切な維持管理を続けるよう要望するものである。

## オ. 監査結果による意見

監査の結果については、全般的に見て、事業は概ね財政援助の目的に沿って実施されているが、口頭で指摘した内容については留意されるよう要望する。